

2衛星受信用

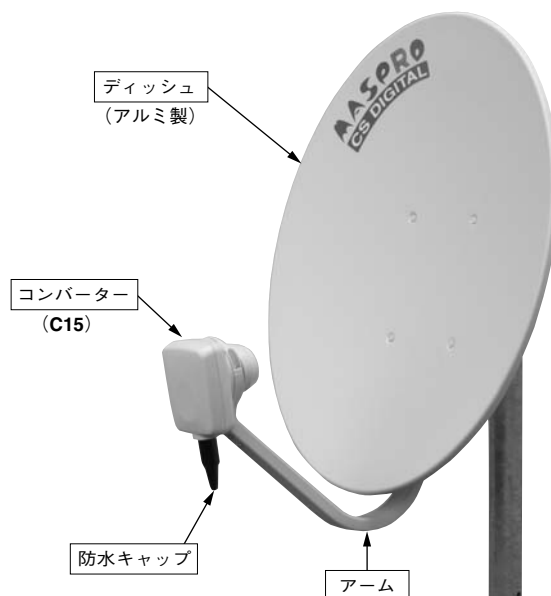
取扱説明書

保証書付

CS ANTENNA
CSアンテナ
受信周波数 12.2~12.75GHz
CS45SP
(有効開口径 43cm)
局部発振周波数 11.2GHz
偏波面電圧切換 (DC11V/15V) 方式 衛星切換信号 (32~53kHz) 方式

スカパー! 用

BS・110°CS (スカパー! e2) は受信できません。



高性能 2 ビームパラボラアンテナ

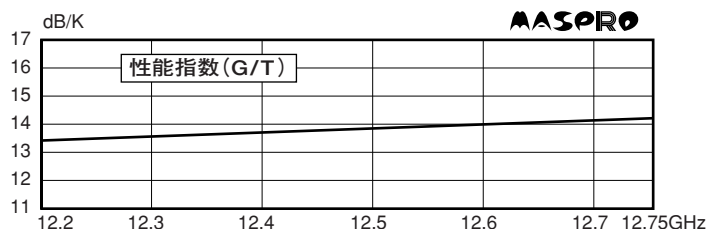
スカパー! (JCSAT-3A, 4A) の電波を 1 台のパラボラアンテナで受信する 2 ビーム方式の高性能 CS アンテナです。

CS衛星切換受信

コンバーターは、スカパー! 用チューナーからの衛星切換信号 (32~53kHz) によって、スカパー! の 2 衛星 (JCSAT-3A, 4A) を自動的に切替えることができます。

優れた性能指数 (G/T)

G/T は、アンテナ利得とコンバーター雑音指数 (NF) によって決まる衛星アンテナの総合性能です。マスプロ CS パラボは、高効率ディッシュと高性能コンバーターによって、優れた G/T 値になっていますから、雷雨・豪雨などで衛星電波が弱くなったときに威力を発揮します。



防水キャップ付

出力端子は、防水キャップ付き下向き二重防水構造ですから、雨水をシャットアウトします。

⚠ 警告

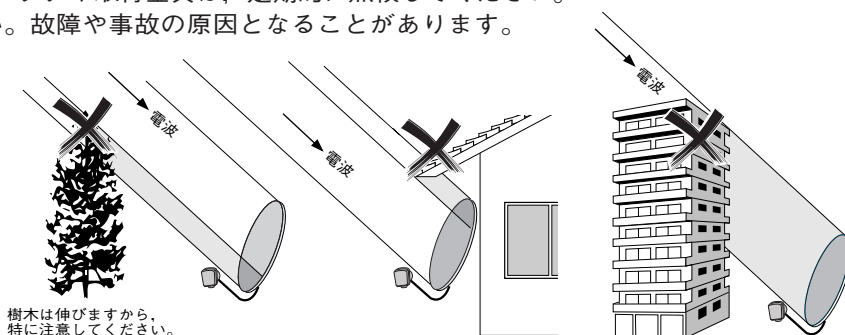
- 雷が鳴出したら、アンテナや引き込みケーブルには触れないでください。感電の原因となります。
- ディッシュには、塗料やワックスなどを塗ったり、ラベルを張付けたりしないでください。光沢によって、太陽光線が反射してコンバーターに集まり、やけど・故障の原因となります。(3月・10月初旬の13～15時には、特に熱くなります)

⚠ 注意

- アンテナの部品の落下などによって、人や物などに損害を与えたり、危害を与えたりすることがないように、安全な場所を選んで設置してください。
- 強風のときは危険ですから、取付作業を行わないでください。
- アンテナ取付工事を行うときは、落下防止のため、アンテナや取付金具・工具を固定物にヒモで結ぶなどの安全対策をしてから作業してください。
- テレビやチューナーからの75Ωケーブルをアンテナへ接続するときは、テレビやチューナーのACプラグをACコンセントから抜いて作業を行ってください。ACプラグをACコンセントに接続したままケーブルの接続作業をすると、使用しているテレビによっては、感電の原因となることがあります。
- 台風などによって、アンテナ・取付金具などに異常があったり、ボルト・ナットなどがゆるんだりしていないか、必ず点検してください。また、アンテナや取付金具が、破損・変形した場合、新しいものと交換してください。そのままにしておくと、アンテナや取付金具などの部品が、破損、落下して、けがの原因や建造物に損害を与える原因となることがあります。
- 腐食が進んで劣化したアンテナや取付金具をそのまま使用しないでください。落下して、人や物などに損害や危害を与える原因となることがあります。アンテナや取付金具は、定期的に点検してください。
- アンテナを改造・分解しないでください。故障や事故の原因となることがあります。

アンテナの設置場所

- アンテナが、しっかりと設置できる場所を選んでください。
- 西南方向の、斜め上方に、障害物(樹木、軒先、ビル、高架道路、崖など)のない場所へ設置してください。



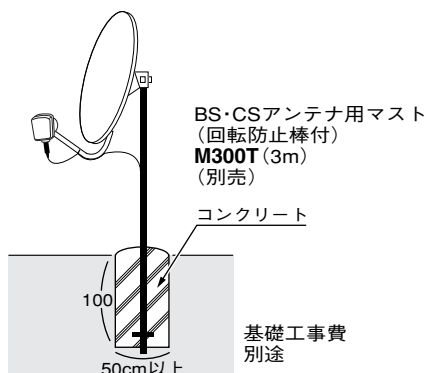
ご注意

CSデジタル放送は、雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着したりすると電波が減衰し、まったく受信できなくなることがあります。

アンテナの設置例

地上設置

- 庭にマストを建てて設置する方法です。
- 手がふれない高さに、アンテナを取付けてください。



フェンス設置

- 取付けは面倒ですが、フェンスの中央に設置すると、丈夫で見た目もよく、邪魔になりません。



BS・CSアンテナ用
フェンスマスト
BM45 (別売)

- 強度の充分確保できるフェンスにしっかりと取付けてください。



BS・CSアンテナ用
コンクリートフェンスベース
KBM45 (別売)

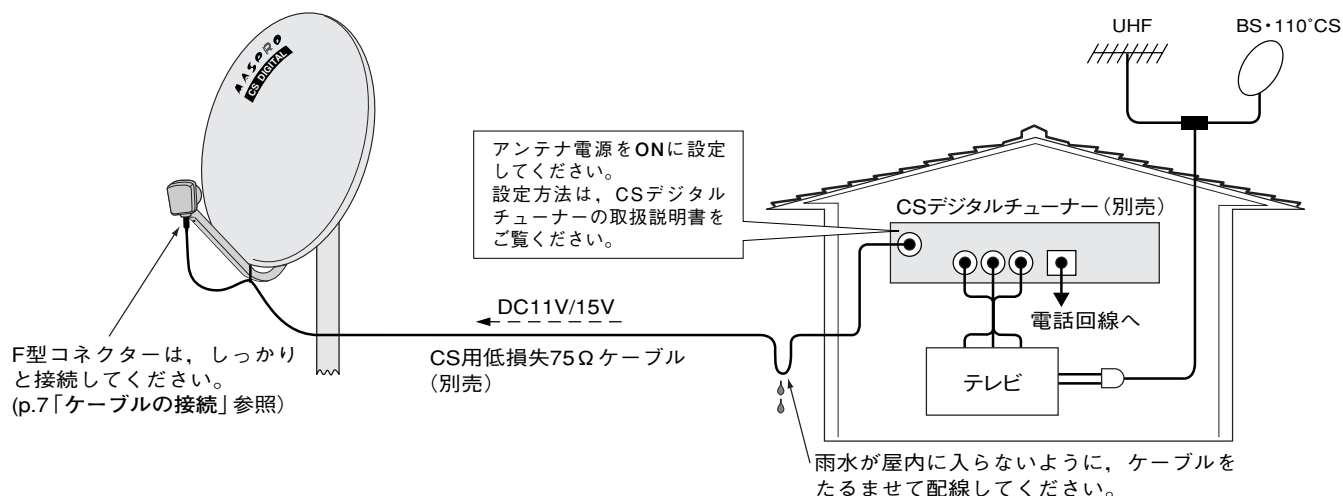
壁面設置

- 木造の場合、木ネジやくぎで、コンクリートの場合、アンカーボルトで、強度の充分確保できる壁面や柱・桁に、しっかりと取付けてください。
- 壁面に設置する場合、屋内への雨水の浸入や強度不足のないように注意してください。



BS・CSアンテナ用
サイドベース
SBM35 (別売)

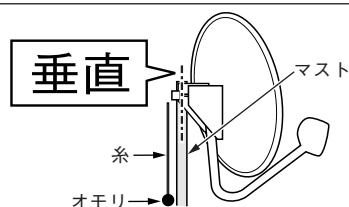
アンテナとデジタルチューナーの接続例



アンテナの組立て・取付け

マストの垂直を必ず確認してください

マストが垂直でないと、2つの衛星を最適な状態で受信することができません。
糸にオモリを付けて垂らすなどして、垂直を確認してください。



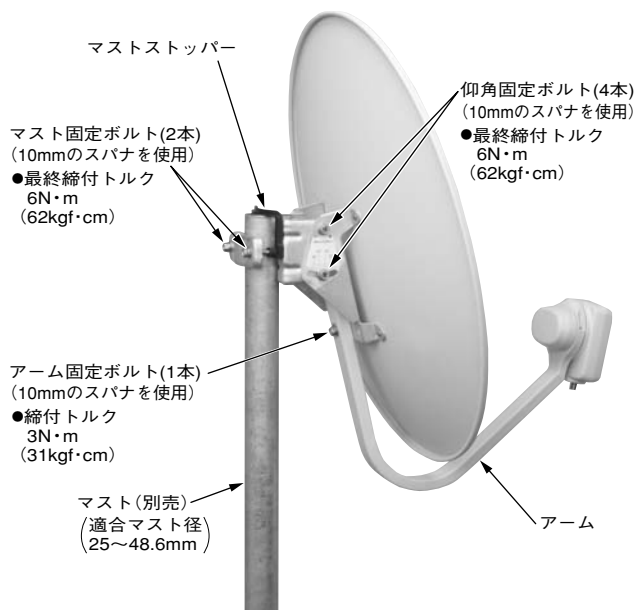
⚠ 注意

アンテナは、強風の影響を受けやすいため、各固定ボルトを指定のトルクで締付けてください。
取付けが不完全な場合、落下して、けがの原因となることがあります。

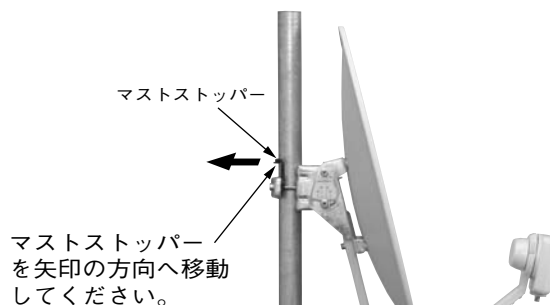
- 1本のアーム固定ボルトでアームを取付けます。
- マストにアンテナを取付けます。
アンテナが左右に回転する程度に、マスト固定ボルトを10mmのスパナで、締付けてください。

ご注意

インパクトレンチなど、急激にトルクが加わる工具は、使用しないでください。固定ボルトの変形や破損の原因となります。



マストの中間に取付ける場合



ご注意

- 仰角が55°以上の地域では、マストの中間に取付けられません。
- p.5「アンテナの仰角・コンバーターの傾き角」をご覧ください。

アンテナの方向調整

アンテナの方向調整は、テレビを見ながら行なってください。

方向調整の準備

- アンテナの方向調整は、パーフェクTV!サービスのプロモーションチャンネル(ch200)を選局して、行なってください。
- アンテナとCSデジタルチューナー・テレビを接続して、「アンテナレベル」表示画面を映してください。
- 詳しくは、CSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。

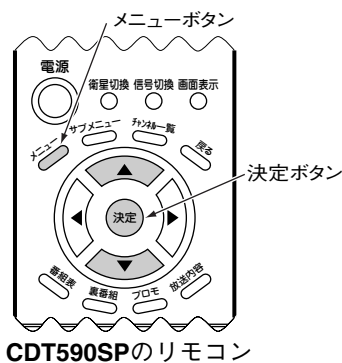
ご注意

CSデジタルチューナーのローカル周波数が、11.2GHzに設定されているか確認してください。11.2GHz以外に設定されていると、方向調整できません。

CSデジタルチューナーCDT590SPを接続して方向調整する場合

CDT590SPは、出荷時に、ローカル周波数を11.2GHzに設定してあります。

CSデジタルチューナー
CDT590SP (別売)

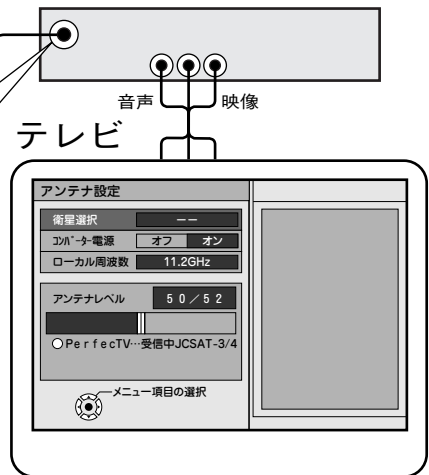


CDT590SPのリモコン

F型コネクタは、しっかりと接続してください。
(p.7「ケーブルの接続」参照)

CS用低損失75Ωケーブル
(別売)

ケーブルを接続してから、CSデジタルチューナーとテレビのACプラグをACコンセントに差込んで、電源を入れてください。

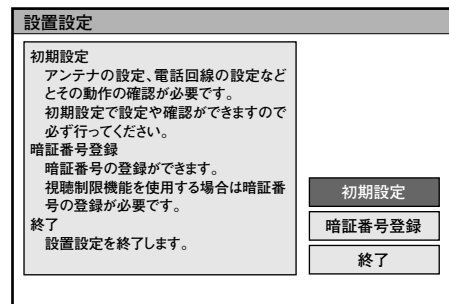


「アンテナレベル」表示画面
(CDT590SPの例)

「アンテナレベル」表示画面の設定

CSデジタルチューナー(CDT590SP)を購入後、はじめて電源を入れたとき

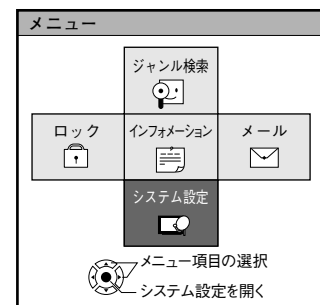
- ① 決定を押し、「設置設定」画面を表示させます。
- ② 「初期設定」を確認し、決定を押します。
- ③ 「アンテナ設定」を確認し、決定を押します。
- ④ 「2衛星用」を確認し、決定を押すと、「アンテナ設定」の画面になり、「アンテナレベル」が表示されます。



「設置設定」表示画面

「設置設定」を終了した後、再度、「アンテナレベル」表示画面の設定をするとき

- ① メニューを押し、「メニュー」画面を表示させます。
- ② 上下で「システム設定」を選び、決定を押します。
- ③ 上下で「初期設定」を選び、決定を3秒以上押します。
- ④ 「アンテナ設定」を確認し、決定を押します。
- ⑤ 「2衛星用」を確認し、決定を押すと、「アンテナ設定」の画面になり、「アンテナレベル」が表示されます。



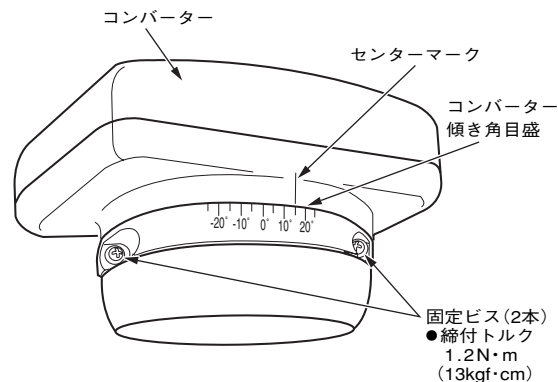
「メニュー」表示画面

① コンバーター傾き角の調整

- 1.「アンテナの仰角・コンバーター傾き角」の地図から、受信地域に該当するコンバーター傾き角(偏波面傾き角)を正確に読み取ります。
2. コンバーターのセンターマークを、コンバーター傾き角目盛に正確(±1°以内を目安)に合わせ、固定ビス(2本)を指定のトルクで締付けてください。

ご注意

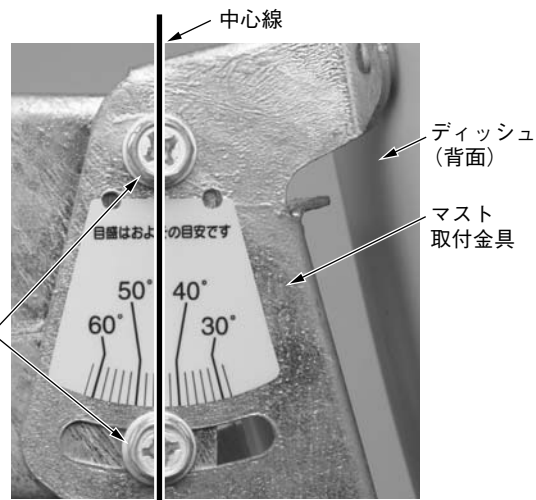
コンバーター傾き角は、⊕側にしてください。
⊖側にすると方向調整できません。



② アンテナの仰角の調整

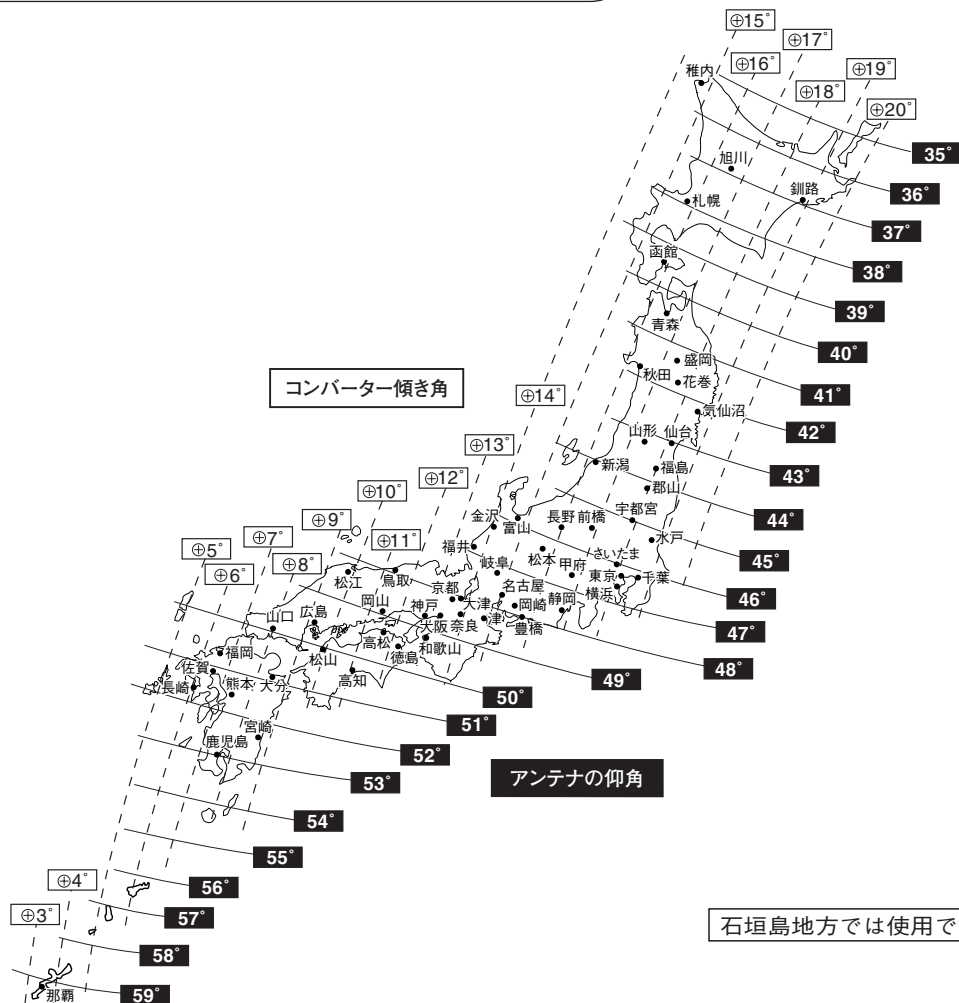
「アンテナの仰角・コンバーター傾き角」の地図から、受信地域に該当するアンテナの仰角を読み取ります。仰角固定ボルトの中心線を、仰角目盛に合わせ、仰角固定ボルトを仮締めしてください。

仰角固定ボルト



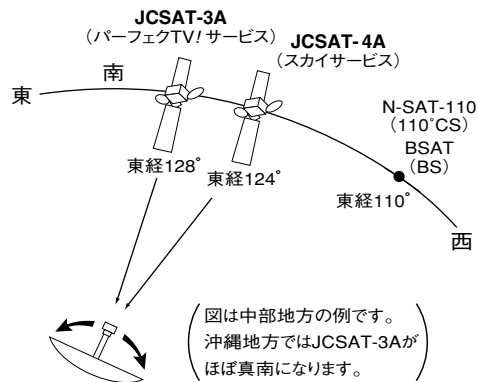
仰角目盛 (およその目安)
(45°に合わせた例)

アンテナの仰角・コンバーター傾き角



③ 方位角の調整

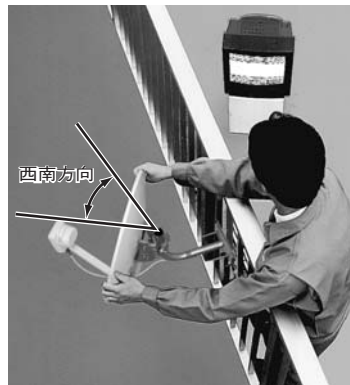
- 1.「アンテナレベル」表示画面を見ながら、アンテナを西南方向を中心に動かして、「アンテナレベル」表示画面の受信状況表示に「PerfectTV…受信済JCSAT-3/4」と表示される方向にします。



2. 受信状況表示に「PerfecTV…受信中JCSAT-3/4」と表示された状態で、アンテナレベルがほぼ最大となる位置にアンテナを動かして、マスト固定ボルトを仮締めしてください。

アンテナは、少しずつ動かしてください

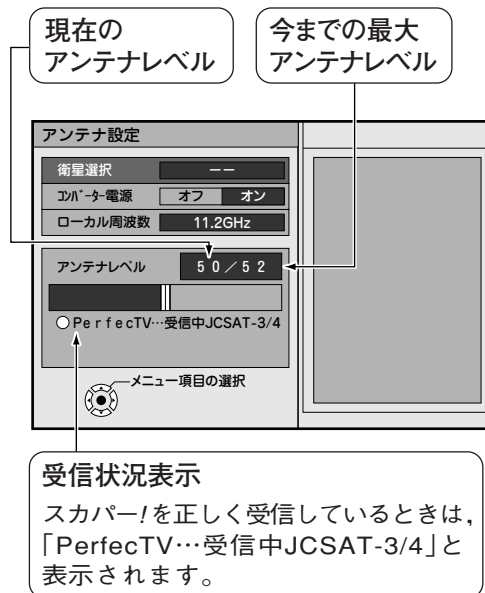
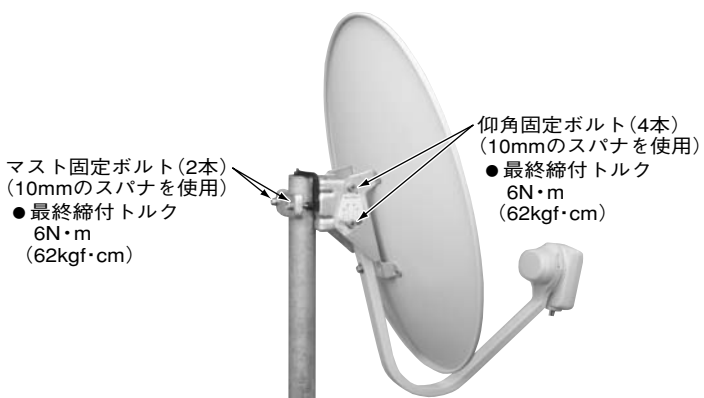
- CSデジタルチューナーは、アンテナレベル(受信レベル)が変化しても、表示が変わるまでに少し時間がかかります。アンテナを少し(1°ぐらい)動かし、2~3秒待って、アンテナレベル(受信レベル)を確認しながら調整してください。
- レベルチェッカー(信号レベル測定器)は、アンテナをゆっくりと動かし続けて方向調整できます。



方位角の調整

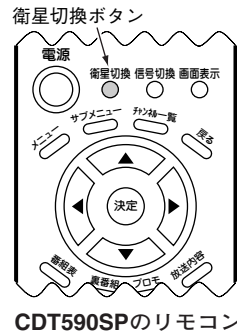
④ 仰角・方位角の微調整

1. 仰角・方位角を微調整して、アンテナレベルが最大となる位置で、各固定ボルトを交互に均等に指定のトルクで締付けてください。



「アンテナレベル」表示画面
(CDT590SPの例)

2. リモコンの衛星切換ボタンで、パーフェクTV!サービスとスカイサービスを切換えて、どちらも映ることを確認してください。



- 各締付け部分は初期ゆるみがありますから、数か月後、再度、締直してください。
- 台風などでアンテナの方向が変わり、テレビの映りが悪くなったときは、再度、マストの垂直をチェックして、①～④の調整をしてください。

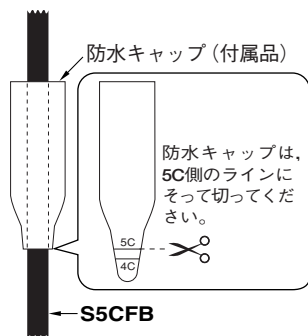
ケーブルの接続

- ① F型コネクタは、確実に取付けないと、受信不良の原因となります。
説明をよく読んで取付けてください。

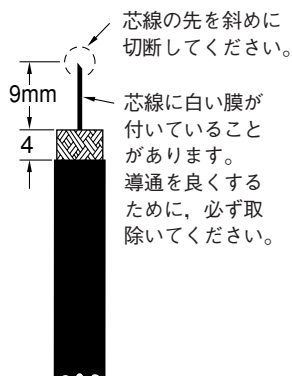
F型コネクタの加工方法

接触不良やショートを防ぐため、プラグはていねいに取付けてください。

- ① ケーブルを、付属の防水キャップに通してください。

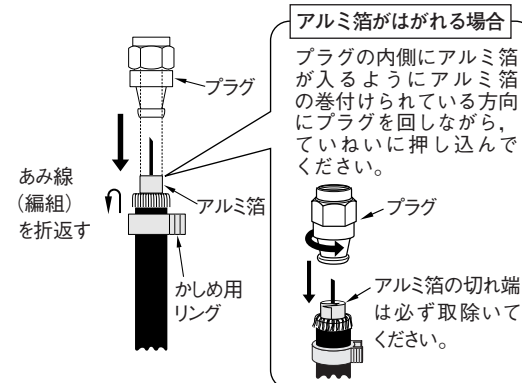


- ② ケーブルの加工
(加工寸法は原寸大です)



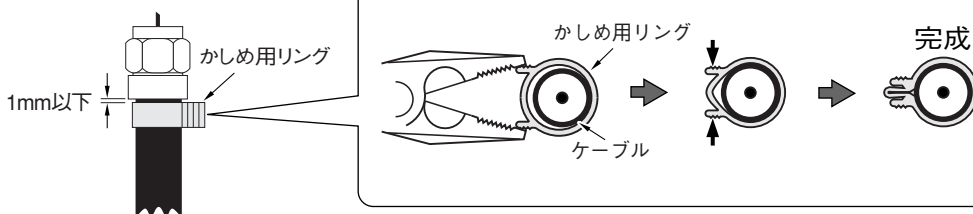
- ③ プラグの取付け

1. かしめ用リングにケーブルを通してください。
2. あみ線(編組)を折返してください。
3. プラグを強く押し込んでください。

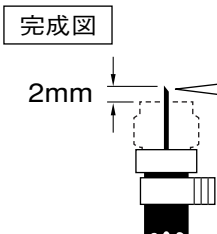


- ④ かしめ用リングを
ペンチで圧着

プラグが抜けないように
プラグの根元で、しっかりと
圧着してください。



芯線の長さは、必ず
2mmにしてください。
芯線が長すぎると、コネクタが
破損して機器が故障します。



芯線は、まっすぐにしてください。
芯線が曲がっていると、ショートして機器が故障します。



- ② F型コネクタを、コンバータの出力端子に、しっかりと接続してください。付属の防水キャップを矢印の方向へ確実に押し込んで、防水キャップが曲がらないように、ケーブルを付属の結束バンドで固定してください。

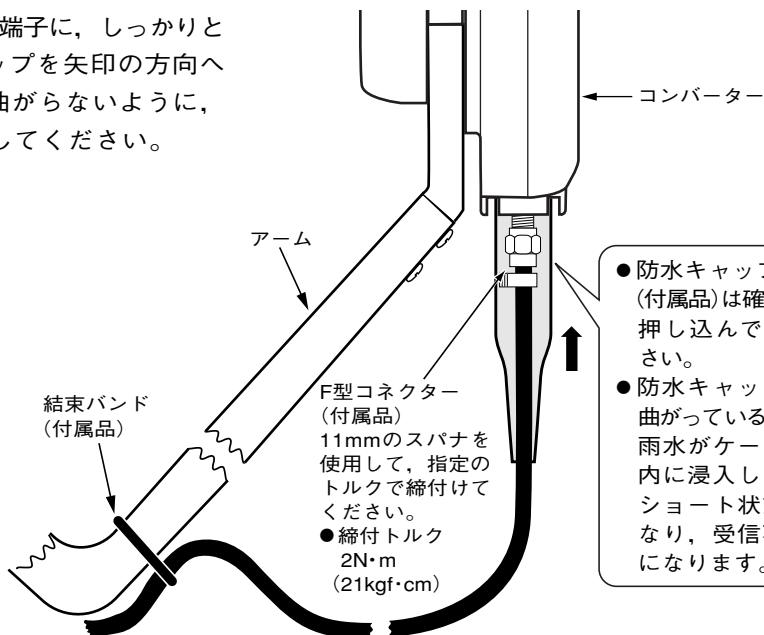
F型コネクタの取付けができない方は、別売のコネクタ付ケーブルをご利用ください。

10mケーブル S5C10MM-P

15mケーブル S5C15MM-P

20mケーブル S5C20MM-P

上記以外のケーブル長をご希望の方は、必要な長さを測り、電気店にご相談ください。

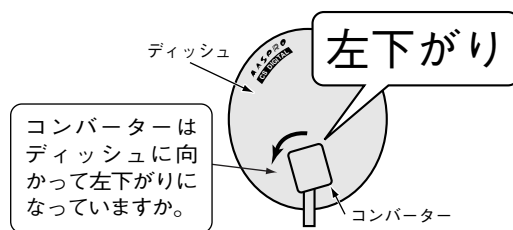


- 防水キャップ (付属品) は確実に押し込んでください。
- 防水キャップが曲がっていると、雨水がケーブル内に浸入して、ショート状態になり、受信不良になります。

正しく使用していただくために

画像がでない、または、アンテナレベルが著しく低いときは、次のチェックをしてください。

- マストは垂直になっていますか。
- コンバーター傾き角は⊕側になっていますか。
- CSデジタルチューナーのローカル周波数は、JCSAT-3A、4Aともに、**11.2GHz**に設定してありますか。
- CSデジタルチューナーのコンバーター電源は「オン」(ON)になっていますか。



規格表

MASPRO

項目	規格
受信周波数	12.2~12.75GHz
アンテナ利得	32.9~34.2dB
性能指数(G/T)	標準値13.7dB/K (12~15dB/K)
ビーム分離角度	4.5±0.5°
受風面積	0.19m ²
風圧荷重(風速60m/s)	59kg
有効開口径	430mm相当
出力周波数	1000~1550MHz
コンバーター利得	50~60dB
コンバーター雑音指数	0.7dB (0.6~0.9dB)
出力インピーダンス	75Ω (F型コネクタ)
局部発振周波数	11.2GHz
局部発振周波数安定度	±1.5MHz以内
使用温度範囲	⊖30~⊕50°C
衛星切換信号	JCSAT-3A:パルス信号なし JCSAT-4A:パルス信号(32~53kHz)あり
電源	垂直偏波:DC11V, 水平偏波:DC15V
消費電力	垂直偏波:1.5W(標準値), 水平偏波:2W(標準値)
CSアンテナ外観寸法(仰角48°のとき)	545(H)×460(W)×499(D)mm (マスト径48.6mmのとき)
質量(重量)	約1.7kg
適合マスト径	25~48.6mm

付属品

- F型コネクタ(5Cケーブル用)……1個
防水キャップ……………1個
結束バンド(ケーブル固定用)……………1本

石垣島地方では使用できません。

マスプロの規格表に絶対うそはありません。保証します。

Master of Production
生産の覇者

CSアンテナ保証書 MODEL CS45SP

お客様住所	
TEL.	— —
★お客様お名前	
様	
★保証期間(販売店記入欄)	
お買上げ日	年 月 日から1年間
★販売店名・住所(販売店記入欄)	
TEL.	— —

★印の欄にご記入のない場合、または、販売店の発行した、お買上げ日、販売店名を確認できる証明書(領収書など)のない場合、無効になります。
本書は再発行いたしませんから、紛失しないよう大切に保管してください。

無料修理規定

- 取扱説明書などの注意にしたがった正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合、お買上げの販売店に本製品と本書をご持参、ご提示のうえ、修理をご依頼ください。無料修理させていただきます。
- 次のような場合、保証期間中でも有料修理になりますから、ご注意ください。
 - ・ 本書のご提示がない場合。
 - ・ 本書に、お客様お名前、お買上げ日、販売店名の記入がない場合、または、販売店の発行した、お買上げ日、販売店名を確認できる証明書(領収書など)のない場合。
 - ・ 本書の字句を書換えられた場合。
 - ・ 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧などによる故障および損傷。
 - ・ ご使用上の誤りによる故障および損傷。
 - ・ 不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ・ お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - ・ 他の機器などにより誘発する故障および損傷。
 - ・ 一般家庭用以外(例えば業務用や車両・船舶への搭載など)に使用されたときの故障および損傷。
 - ・ 設置工事、施工の不備によって生じた故障および損傷。
- 本書は日本国内に限り有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

本書に明示した期間および条件で、無料修理をお約束します。保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店にお問合わせください。修理によって機能が維持できるときは、お客様のご要望により、有料修理いたします。

持込修理

＝マスプロ電気株式会社＝

本社 〒470-0194(本社専用番号)愛知県日進市浅田町上納80
営業推進部 TEL名古屋(052)802-2244

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

＝マスプロ電気＝

本社 〒470-0194(本社専用番号)愛知県日進市浅田町上納80
技術相談

0570-091119

ナビダイヤル® 固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます
IP-PHS(ナビダイヤルが利用できない)電話からは **052-805-3366**

受付時間 9~12時、13~17時(土・日・祝日、当社休業日を除く)
インターネットホームページ www.maspro.co.jp

技術相談以外は、お近くの支店・営業所にお問合わせください。

営業部 支店・営業所

首都圏(シ) (03)3499-5632
西日本(シ) (082)230-2359
中日本(シ) (06)6632-1144
北日本(シ) (022)786-5062
福岡(支) (092)551-1711
沖縄 (098)854-2768
鹿児島 (099)812-1200
宮崎 (0985)25-3877
熊本 (096)381-7626
長崎 (095)864-6001
北九州 (093)941-4026

下関 (083)255-1130
広島(支) (082)230-2351
松江 (0852)21-5341
岡山 (086)252-5800
松山 (089)973-5656
高知 (088)882-0991
高松 (087)865-3666

大阪(支) (06)6635-2222
姫路 (079)234-6669
神戸 (078)231-6111
京都 (075)646-3800
東海(工) (052)804-6262
名古屋(支) (052)802-2233

津 (059)234-0261
岐阜 (058)275-0805
豊橋 (0532)33-1500
静岡 (054)283-2220
松本 (0263)57-4625
福井 (0776)23-8153
金沢 (076)249-5301

関東(工) (03)3499-5631
首都圏電材(営) (03)5469-5521
東京(支) (03)3409-5505
新潟 (025)287-3155
横浜 (045)784-1422
八王子 (042)637-1699
千葉 (043)232-5335
さいたま (048)663-8000

前橋 (027)263-3767
水戸 (029)248-3870
宇都宮 (028)636-1210

仙台(支) (022)786-5060
郡山 (024)952-0095
盛岡 (019)641-1500
秋田 (018)862-7523
青森 (017)742-4227
札幌 (011)782-0711
釧路 (0154)23-8466
旭川 (0166)25-3111

(営):営業グループ
(シ):システム営業グループ
(工):工事グループ

2K56-520

SM(N)-16-5520-5C

JUN., 2011